

令和4年度（2022年度）第4回東海市地域公共交通会議会議録

- 会議の名称 令和4年度（2022年度）第4回東海市地域公共交通会議
- 開催日時 令和5年（2023年）2月14日（火）
午後1時30分から午後2時25分まで
- 開催場所 東海市役所302会議室（3階）
- 出席委員 星川功（会長）、齋藤誠（副会長）、鳴田喜昭（議長）、
金森隆浩、川本晃平、天野朝之、小林裕之、佐野達郎、
日浦佳宏、湯浅一成、村瀬謙治、片桐眞砂子、大里美栄子、
秋山和子、三浦礼一、田内重光、山内三奈、桑山忍、大西彰
- 欠席委員 平松久知、大瀧諒、大村茂樹、横山和彦、久保田英男、大林益英
- 事務局 総務部長、総務部次長、交通防犯課長、同統括主任、同主任2人
- オブザーバー 委託事業者1人
- 傍聴者の数 2人

○議題及び審議の概要

1. 開会のことば
2. 会長あいさつ

（会長）今回の第4回を持って、今年度の本会議は終了となる。委員の皆様には、1年間を通して公共交通機関への様々なご意見をありがとうございました。来年度以降も皆様からいただいた貴重なご意見を踏まえながら議論を行っていく。本日は、今年度実施したアンケート調査の取りまとめ結果の報告や来年度事業について協議していただく。委員の皆様にはそれぞれの立場から、忌憚ないご意見をお願いしたい。

3. 報告事項

- (1) 前回の会議録の確認について
事務局による資料1の説明
- (2) 循環バスの利用状況等について
事務局による資料2の説明

（議長）循環バスの利用者数が順調に回復しており、この調子でいけば年間利用者数30万人を超えるかもしれない。

(3) 令和5年度（2023年度）地域公共交通計画調査事業要望書について

事務局による資料3、資料4、資料5の説明

資料の修正あり

資料4の1ページ中「7万人の増」を「63万人の増」に修正

(委員) 中ルートのみ中型バスを利用しているが、中ルートの利用者が多いから中型バスを採用し、北ルートと南ルートは利用者が少ないから小型バスを採用しているのか。

(事務局) 北ルートと南ルートは道が細い住宅地を運行していることから、小型バスを採用している。

(委員) 小型バスであるため、満席で乗車できないということはないか。

(事務局) そのような報告は受けていない。令和3年度中の各ルートの乗車率は北ルートが34.9%、中ルートが33.5%、南ルートが31.6%であった。

(委員) 補助金の要綱上は補助率2分の1、上限500万円となっているが、法改正により計画を策定する協議会が増えている関係上、各協議会の内定額が少なくなっている。ご理解いただきたい。

(議長) 来年度の内定額はいつ頃分かるのか。

(事務局) 3月上旬頃、内示がある予定。

(4) 東海市地域公共交通計画策定支援業務委託の進捗状況について

事務局による資料6の説明

(議長) 8ページの凡例の人数は何を表しているのか。

(事務局) その地点に行きたい人の数である。

(議長) 凡例に説明があるとよい。

(事務局) 修正する。

(委員) 8ページの行きたい施設で、国立長寿医療研究センターの需要がとても多いが、今後は行けるようなルート設定をしていくのか。

(事務局) 国立長寿医療研究センターへの移動の需要が多いことは、今回のアンケート調査で明らかになったため、循環バスだけでなく路線バスやタクシー等、様々な可能性の中で次期ルートを検討していく。

(委員) バス勢圏の基準がバス停300m以内であるのはなぜか。民間でバス

停を設置する際には200mを基準に考えている。

(事務局) 明確な基準があるわけではない。

(議長) 以前、人が抵抗なく歩ける距離を調査した方の報告によると、当時は300mとの結果であったが、高齢化が更に進んでいる現在では、200mに近い結果が出るかもしれない。

(委員) 全てのバス停を200m以内にする必要はなく、高齢者の利用が多い施設の近くのバス停に絞って設置を検討すると良いのではないか。

(事務局) 今後、検討していく。

(委員) 25ページのような交通体系を作成する際に、9ページのような調査結果を取り入れると良い。

4. 協議事項

(1) 令和5年度（2023年度）東海市地域公共交通会議予算案について
事務局による資料7の説明

(議長) 知多市の負担金はどのように計算しているのか。

(事務局) 西知多総合病院内に設置しているバスロケーションシステムの維持管理費の内、共通部分の費用を立地割と人口割を用いた結果、知多市に約4割負担してもらう計算となる。

＜議長による承認採決＞

(一 同) 承認

(2) 令和5年度（2023年度）循環バス無料運行の実施について

事務局による資料8の説明

(議長) 無料運行を実施した日の利用者数はカウントしているのか。

(事務局) カウントしている。今年度の秋まつりでは、11月5日は865人、11月6日は714人であり、11月の休日の利用者平均（603人）より多かった。同じく、東海フラワーショウでも、1月21日は712人、1月22日は606人であり、1月の休日の利用者平均（500人）より多かった。

(議長) 無料運行を実施することで、日頃循環バスを利用しない人たちの利用促進に繋がっている。

＜議長による承認採決＞

(一 同) 承認

5. 閉会のことば